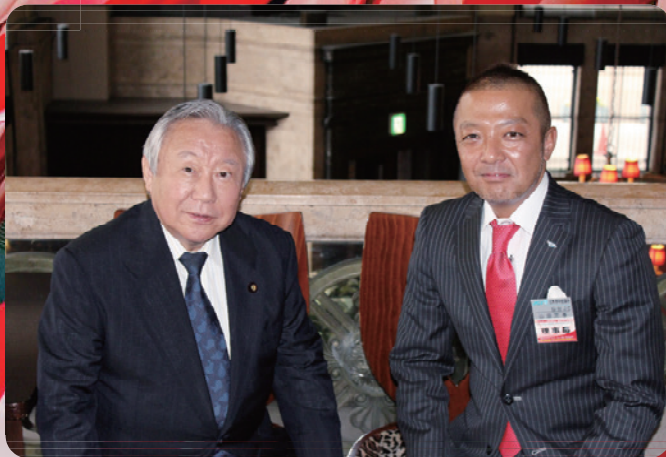


のぞみ

理事長対談

すてきな仙台の 実現に向けて ～世代を超えた絆～



参議院議員
日本青年会議所第29代会頭

鴻池 祥肇



公益社団法人仙台青年会議所第62代理事長

山田 宗基

副理事長・専務理事・室長・議長・特別委員長・委員長紹介

2013 上半期活動報告

協議会通信 ■ 東北地区協議会
宮城ブロック協議会

PROUD

プラウド富沢ガーデン

新発表

予告広告

販売を開始するまでは契約または予約の申し込み、および申し込み順位の確保には一切応じられません。あらかじめご了承ください。
(販売開始予定時期：平成25年9月上旬予定)

New Life

富沢駅周辺
土地区画整理事業地内

ECO&Smart

～環境配慮～

みらいがいく

みらいがいく
Go future

Safety & Security

～防災・防犯配慮～

PROUD Quality

～永住品質～

とっておきの環境にふさわしい、
新しいプラウド。

プラウド富沢ガーデン 誕生。

未来街区

未来がいく

- 歩行者に優しい街づくり
- 富沢駅周辺地区計画による住みやすい街並み
- 徒歩圏内に、便利な生活利便施設が集約
- 美しい緑と潤いの環境
- 人と環境に配慮した「エコ仕様」の数々
- 安心・安全を見守る「防災・防犯」への対策
- 先進の「プラウドクオリティ」
- 信頼の「製・販・管」一貫体制

始発

仙台市営地下鉄南北線
「富沢」駅 徒歩 9min
(約720m)

新しい街・暮らし
土地区画整理事業地内

(富沢駅周辺土地区画整理事業)平成26年度完了予定

陽光が降り注ぐ
全戸南向き

全52戸分に加え来客用も確保
駐車場 100%

(1階住戸は専用駐車場付き)

※土地区画整理事業の内容は、平成25年6月現在の情報であり計画に変更が生じる場合がございます。 ※掲載の建物完成予想CGは、図面を基に描き起こしたものです。施工上等の都合により実際とは異なる場合がございます。掲載は特定の季節を示すものではありません。また、竣工時には完成予想CG程度に成長しております。

資料請求受付中

最新の物件情報とプロジェクト発表会等のイベントへ優先的にご案内いたします。

資料請求は、ホームページまたはお電話より承ります。

0120-212-722

営業時間/午前10時～午後6時 定休日/火・水曜日※携帯電話・PHSからもご利用になります。

www.p-tomizawa.jp

プラウド富沢

検索

「プラウド富沢ガーデン」予告物件概要

●所在地:富沢駅周辺土地区画整理事業地内仮換地48街区5.6画地(従前地:宮城県仙台市太白区大野田字観音堂56-1他5筆) ●交通:仙台市営地下鉄南北線「富沢」駅徒歩9分 ●総戸数52戸(他に管理事務室1戸) ●用途地域:第2種住居地域 ●敷地面積:2137.22㎡ ●建築面積:1039.89㎡ ●構造・規模:RC造地上7階建て ●建築確認番号:第ERI 13017496号(平成25年4月25日付) ●管理形態:区分所有者全員により管理組合を結成していただき、野村リビングサポート株式会社に委託予定 ●完成予定時期:平成26年8月下旬予定 ●入居予定時期:平成26年9月下旬予定 ●売主:野村不動産株式会社 ●施工会社:三井住友建設株式会社 東北支店 ●駐車場:52台(他に来客用1台) ※東日本大震災に起因する事象等(資材の納入の遅れ等)により、完成予定時期及び入居予定時期が変更になる場合があります。

■販売概要 ●販売戸数:未定 ●専有面積:72.96㎡～96.84㎡ ●バルコニー面積:10.66㎡～20.49㎡ ●トランクルーム:52区画(月額使用料なし) ●販売価格:未定 ●販売予定時期:平成25年9月上旬 ※一括して販売するか分割して販売するか未定です。上記の専有面積等は全戸に対してのものです。確定情報は、本広告でお知らせいたします。



※公園予定地は、平成26年度完成予定です。遊具等の公園施設の整備及び供用開始時期については未定となります。※記載の予想図は、仙台市発行の仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業のハフレットを基に作成しております。現在、区画整理事業の施行中のため、今後変更になる可能性があります。

〈売主〉 野村不動産

国土交通大臣免許(第12)第1370号
(一社)不動産協会会員 (公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟 (一社)不動産流通経営協会会員
野村不動産株式会社 仙台支店 〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-5-1 大一野村ビル8階 TEL.022-264-2741

のぞみ

vol.397

2013

CONTENTS

- 4 対談 すてきな仙台の実現に向けて～世代を超えた絆～
参議院議員 鴻池 祥肇 × 理事長 山田 宗基
- 9 第44回仙台七夕花火祭のご案内
- 10 副理事長・専務理事・室長・議長・特別委員長・委員長紹介
- 11 ゆめ★まちプロジェクトのご案内
- 12 2013年度 上半期活動報告
- 14 「すてきな仙台の創造へ向かって」のご案内
- 15 協議会通信
 - 東北地区協議会
 - 宮城ブロック協議会
- 15 編集後記

公益社団法人仙台青年会議所 第62代理事長

山田 宗基

Yamada Munemoto



理事長挨拶

はじめに、日頃より当青年会議所へ、様々なご支援、ご協力を賜っておりますことに深く御礼申し上げます。本年1月より第62代理事長に就任し、早くも折り返し地点を迎えました。その間、たくさんの方々からの多大なるご理解、ご協力を頂きながら、活動の場を与えて頂いておりますことにも感謝申し上げます。

さて、仙台青年会議所は、1951年に全国で11番目の青年会議所として誕生し、今年で62年目を迎えることが出来ました。私たちは明るい豊かな社会の実現をめざし、責任感と情熱をもった青年同志が、常日頃より、より良い社会づくりのために様々なボランティア活動や、社会開発に向けた運動の発信など、地域が抱える様々な課題や諸問題へ積極的に取り組んでいる団体です。

本年度の運動方針は、「Discover now, for the future! すてきな夢・すてきな仙台の実現へ」をスローガンに掲げ、メンバー一人ひとりが、活力のある地域発展の原動力として、「すてきな存在感を発揮し、大きな使命感を持って震災から2年以上過ぎた今、この仙台のまちに「すてきな」な夢や未来を描けるように運動を展開しております。そして、8月5日には、第44回目を迎える仙台七夕花火祭も、「すてきな」な花火祭となるよう開催をさせていただきます。

最後になりますが、今後とも市民の皆様をはじめ、関係各所の皆様、特別会員の皆様からの変わらぬご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

参議院議員
日本青年会議所第29代会頭

鴻池 祥肇 × 山田 宗基
Kounoike Yoshitada

1940年11月28日生	1995年 参議院議員初当選
1977年 尼崎青年会議所理事長	2002年 防災担当大臣
1980年 日本青年会議所第29代会頭	2003年 構造改革特区担当大臣
1986年 衆議院議員初当選	2008年 内閣官房副長官
1991年 沖繩開発政務次官	2013年 現在参議院議員4期目

公益社団法人仙台青年会議所第62代理事長

山田 宗基
Yamada Munemoto

1974年4月12日生	2010年 まちの希望創造委員会 委員長
2005年 会員開発委員会 委員	2011年 副理事長
2006年 七夕花火祭特別委員会 委員	2012年 副理事長
2007年 事務局次長	日本JC出向「凛然とした誇りある国家」 創造会議副議長
2008年 七夕花火祭特別委員会 副委員長	2013年 理事長
2009年 財務運営会議 副議長	

理事長
対談

すてきな仙台の 実現に向けて

～世代を超えた絆～

プロローグ

鴻池先輩と山田家

鴻池祥肇氏【鴻】麻生太郎元首相が日本JC会頭予定者の頃、仙台で日本JCの全国大会が開催されました。その当時の主管JCである仙台青年会議所の理事長が、山田理事長のお父さんでした。麻生会頭、山田副会頭、井奥副会頭、そして元福島県知事の佐藤副会頭がキャビネットの時代でした。その頃、私は近畿ブロック協議会の会長でした。山田副会頭とはとても気が合い親交を深めたものです。ちょうど次年度の会頭をどうしようかという年度後半に、指導力開発系と社会開発系の派はそれぞれ対峙するところがあり、指導力開発系の一派に属した私たちは社会開発系の佐藤元副会頭の一派と競う事になりました。私は、『おい山田、お前がなっても良いんじゃないか？』と推した事があるのですが、『俺は、いい』と固辞したことをよく覚えています。彼は、『お前のように要職を歴任してきたわけでもないし、そんな事を考えたことないよ』と言っていました。『それじゃ、誰がやるの？』とふと見回した時に白羽の矢が立ったのが、ネアカで明朗な人柄の井奥貞雄さんでした。佐藤さんとは好対照でした。日本列島を二分する大選挙の末、高卒の井奥貞雄さんが、東大卒の佐藤さんを破ったんです。

この選挙結果が契機となり、大卒が偉いわけではないということを知り、約6割の人間が高卒で就職する時代でしたから

すてきな仙台の実現に向けて

井奥さんの人気はうなぎのぼりに上昇しました。その時、山田理事長のお父さんが監事を務めており、その挨拶がとても素敵だったのを記憶しています。『自分はスピーチが下手なので、日本青年会議所の運営において隠し味になります。ちょっと醤油入れたり、酒入れたり…。料理の中で隠し味というのは非常に大事。その隠し味には私はありません』素敵だなあと思いましたね。あと素敵だと思っただことはあまりないけどね。(笑)

お父さんが麻生さんに『せがれをあなたの事務所まで男にしてくれ』といって、麻生事務所にあなたが入所する事になるんだよね。今日は久しぶりにあなたに会いたいなあと思っていたので実現してうれしいよ。どうぞよろしく。

佐藤委員長【佐】 本日は公務でご多忙のところ、対談にお時間をいただきありがとうございます。早速ですが、本題に入らせていただきます。

山田理事長【山】 ありがとうございます。実は今年、私は『すてき』という言葉 キーワードにしています。私自身が理事長になるにあたり、JCマンとして『すてき』な人間になりたいという想いや、仙台青年会議所が『すてき』になれば、仙台というまちも『すてき』になるのではないかと、という意味で自分自身には似つかわしく無いかもしれませんが、そういう想いで『すてき』という言葉 キーワードにしています。

震災から復興

【佐】 11年の震災後、鴻池先輩に仙台で講演を頂いてから2年が経ちました。我々がどうあるべきか？また阪神淡路大震災から18年経った現在の神戸と同じ様に、仙台も震災から今後10年、20年と経て行くなかで、仙台青年会議所としてどういう方向に行くべきか、お聞かせください。

【山】 2年前ほどではなくなりました。地域、物、金、情報全てにおいて、震災に起因する格差社会がもう始まっているというのが現状であり、やはりJCが率先して関わっていかねばならない問題が山積しています。

例えば、世界中の仲間や政府、もちろん日本中から沢山の支援や協力を現在も頂いてますが、正しい道が何かということとを市民レベルでは判断しかねているように思います。私たちには多様な情報や沢山の脈があるので、正しい判断をする引き出しがいっぱいあると思うんです。しかし、市民は一方通行の情報や周囲の判断に自身を委ねてしまう、非常に危険だと感じています。

【鴻】 日本中がそういう感じだね。昔と違って、私たちがあなた方の頃は、国民全体が中流意識だったと思います。その時は案外みんな幸せで文句はでなかったし、本来そうしていくべきだね。今の格差は他国と比べたら、たいしたことないですが、だんだん格差が表面化し、色々な意味で弱者と呼ばれる方が増え

てきているように感じています。気の毒だと思えますよ、あなた方の時代は。

敗戦後の日本は、国民が一丸となり頑張り高度成長を機にどんどん経済的に成長してきましたが、バブルの崩壊、神戸の大震災、そして東日本大震災とある意味下り坂に入ってきたんじゃないかなあ。負けとか、マイナスイ思考ではなく、下りながらもきつと楽しいことがあると思いますよ。自分たちで「幸せでした」という社会にすればいいんじゃないかな。

政治の世界も、「行け行けドンドン」は、人口や若者から推察しても難しい局面だし、年金の問題とかもあるしね。ですから、地域によって取り組むべき課題も違うでしょうから、それとどのように向き合うか、共通認識をどこまで広げられるのか、僕は青年会議所のひとつの在り方ではないかと思えますよ。

義理・人情・恩返し、人材より人物優位

【鴻】 会員の人数はどう？減ってない？
【山】 仙台JCはここ10年間、ほぼ横ばいです。今年は仮会員含めて約210名です。

【鴻】 立派だね。兵庫ブロックでは会議所が解散したり、運営がうまくいってないところもあるようだよ。

仙台JCも、神戸JCも、尼崎JCのような中小LOMでも、それぞれにうるさい先輩がいるでしょ。そういう人がいると人数は減りません。親が子を見離したら、子は育たなくなります。JCも一

緒です。JCの場合、単年度制だから、5年に一度でも、10年に一度でもうるさい先輩が出てこない、と、長期間だからと運営して、しまりが無くなってくるからね。国家もそう、家庭もそう、青年会議所もそう、荀のふしみたいな先輩の存在は大きいよね。学歴がなくても、話し方が下手でも、情のある人いるでしょ？人材じゃなくて人物を評価しないとダメだよ。こういう仲間を幹部は見定めてやらないと。入会した時から、萎縮しないようにそういう人物を育てていかないとね。

【山】 私は、あくまでも表面的に形容しやすいので、『すてき』をキーワードにしています。でも腹のなかにあるのは、義理・人情・恩返し以外ありません。義理・



※ JCとは青年会議所のこと。
※ LOMとは地域青年会議所のこと。

人情・恩返しがある組織だからJICを続けているのです。だから仲間と、真剣にお付き合いできるんだと思います。それを基準に物事を判断すると、すごくわかりやすいように感じています。そこが僕の基本理念なんです。

【鴻】そういう理念で、理事長として皆を引張って行けばいいのではないですか。今後開催される例会から声を大にして、仲間に伝えていけばいいんじゃないかな。JICには、義理・人情・恩返しもあるけど、義理・人情・やせ我慢も必要だよな。(笑)

【山】そのことは、理事長所信にもしたためているんです。その中で、仙台をどう復興させるかというビジョンを示すよりも、まず、世界中から頂いた支援に対し、どのような形で義理を果たさなければならぬか。ということもJICメンバー、市民、県民もきちんと認識しなければいけないと思います。沢山の犠牲を払いながらも、生き残ってよかったねと終わらせては、震災で戴いた恩義は返せないままになってしまいます。皆様のおかげで、仙台が世界中で一番防災対策が進んだ街になりました。そういうことをPRしていくことがすてきな仙台につながって行くと思います。そういう意味では、平成27年に国連防災会議が仙台で開催されることが決定しました。仙台にとってはまたとないチャンスだと思います。

【鴻】またとないチャンスというのは素敵ですね。国連防災会議は、防災大臣をした時に神戸で開催しました。神戸は3・11の30分の1ぐらいの規模でしたが、

現在は防災都市になりつつあります。ぜひ成功させるべきだと思いますよ。

【山】まちの復興には良いことなのでしようが、津波被害を受けた土地でも建築制限がかからない場所には、建物を作るのができますが、市民は半信半疑で見守っていると思います。市街地に住んでいる人と、沿岸部に住んでいる人とは温度差が生じています。うまくバランスをとって、我々も一緒に考えていかなければいけません。NPO法人もかなりの団体が被災地に入り、ボランティア活動を行っています。JICしかなかった時代から、JICもある、NPOもある、そんな時代だからこそ、JICだからできることを知恵を絞ってやっていかないといけないと考えています。

「トモダチ作戦」も「政府」に物申せ!

【山】米軍には東日本大震災で力を尽くして頂きました。いわゆる「トモダチ作戦」です。支援に対し、なにかお返ししたいと思っています。

【鴻】義理・人情・恩返しと言う君の考えからすれば当然そう思うよね。それにJICは、憲法についても自立した主張ができる立場にあるのだから、「トモダチ作戦」集团的自衛権などを青年会議所という団体から発して市民に考えてもらえたらうれしいですね。そのような背景を考えると、仙台JICはすごくいい立場にいるのではないかと思いますよ。

現在の集团的自衛権は「少し離れたところから山田さん頑張ってください。体

に気をつけて頑張ってください」と言うのが日本の立場です。本来の集团的自衛権は、何かありそうになったら、助けに行くことだと思うのですが、現行法では認められていません。しかしながら友からの友情を期待している人に、その友情を返せないというのは、義理・人情・恩返しに反することですよ。憲法改正を含めて、集团的自衛権というものを日本は行使する権利をきちっと持つべきであると思います。

「トモダチ作戦」に対する想いがあるのであれば、青年会議所は政府に対して発言できる権利があるのだから意思表示しても構わないのではないのでしょうか。市民やNPO法人にはできないことだと思えますよ。政治的に誘導するみたいで申し訳ないですが。

九六条について考えてみましょう。国民の約6割は憲法改正に賛成、9条についても約7割は改正に賛成の様です。で、当然国会で発議する必要がありますよね。そのために3分の2の票がなければ、「変えましょう!ここ変えます!」ということすら言えない訳です。九六条を通してからでないと過半数の国民が求めている話を聞くことすらできないというのが今の政治です。私は堂々と真正面からやるべきだと思います。

【山】今でも三沢基地周辺では支援が継続されているんです。例えば米兵の奥様が作ったものや、物資の支援、商売の支援など。昨年、日本JICに出向させて頂き、沖繩40周年の担当をした関係で沖繩に行き始めたのですが、まず驚いたこ



とが「トモダチ作戦」という言葉を知らないことです。沖繩県民は、米軍がNOなので、東北で「トモダチ作戦」が実施されましたという事が伝わっていないんです。一方で本州を中心とした国民は、沖繩がなければ困るという事を認識しています。そうであれば、「トモダチ作戦」に恩義を感じたひとりとして、何か違う形で沖繩県民に伝えられることがあるのではないかと強く感じております。今も私は、沖繩から発信する国家感と言うテーマで、色々考えてはいるんです。鴻池さんの集团的自衛権についておっしゃっていることは非常に理解できます。

【鴻】沖繩と沿岸部の問題は、JICが考えるべきよい課題ですから、当事者であるあなた方が声をあげてもよろしいのではないのでしょうか。

そういう切り口から、沖繩を見て、沖繩県民の心を揺さぶることは大事な事だと思いますよ。

【佐】阪神淡路大震災から10年20年と経



過する間に政府からの協力や、支援が有ったと思いますが、これから仙台は神戸をお手本に立ち上がっていかうとする段階で、どういふ事が必要だと感じられますか？

【鴻】財政的に見た時、神戸、芦屋、西宮、伊丹が被災地域でも割としっかりしていましたね。仙台もそうだと思います。政府が先頭に立ってやってはいますけど、経済的にも人材的にも、ほかの地域がちよっと脆弱に思えます。

阪神淡路では、建物の倒壊が非常に多く、そのまま目の前にがれきが残っていたことに対し、3・11は地震による直接的な影響は少なかったですが、津波や原発による被害を受けた点が異なっているように感じます。神戸は見た中ででの災害で5、600人の方が亡くなっています。それと同時に財政的な規模、政治的な規模、政治的なしつかり度と言うの

が阪神は良かったと思います。大阪からの支援と言うものを取り付けられましたし、良い政治家もいるしね。(笑)

ところが仙台の場合、被災している仙台が、周辺地域の中心なわけで、何もかも仙台が中心的な役割を果たさないとはいえないような状況でしたよね。だから財政的には神戸のほうがプラスです。

【山】確かに震災時期の宮城県の各市町村は財政的にも厳しかったですし、平成の大合併の問題もあって、隅々まで自治体の目が届かない状況があり、弱体化した中で震災が発生したため、延々として進まない行政の仕組みを歯がゆい思いで見えていました。

【鴻】当時の政府には機動力が無かったですからね。自民党だったらもう少し早かったかもしれないですね。阪神淡路大震災発生時、時の首相は屋近くまで被害の状況を把握することができずにいました。次々と飛び込んでくる状況報告に、自分一人で事を終息させるのは難しいと判断をして、すぐに自民党と連携を計り、鹿児島県選出の小里さんを担当に据えました。小里さんは被災地をくまなく周られましたよ。東日本大震災では対応できなかったでしょ。せいぜい役人か副大臣が中心となって対応する程度でしたよね。また、復興にはお金が必要なので。復興に必要な予算をいかに確保してあげられるかが勝負なのです。大臣は、高台移転の実現をどうするか考えるよりも、地域が必要とする施策を実現できるような予算を確保することを優先させるべきだと思います。高台移転や新しい都

市計画などは地方自治体の首長が考えられたらよろしいのではないのでしょうか。なぜなら、その地域のことを政府よりもよく御存じなのです。そして町に暮らす人と膝を交えて語り合えばいいのです。

【山】実は仙台市は、震災前と比較すると被災地域から避難してきた方々と、復活活動で来られている方々によって、流入人口が4万人以上も増えているんです。ある意味それも仙台市としては、うれしいお話だと思います。高台移転とかいろいろな問題がありますけれど、主体的に政府が関与したほうが上手くいく問題や早く解決できることは政府でやっていただけではないと思います。僕らの考えるべきことは、現在、近い未来、50年後100年後であって、震災の被害を受けた子ども達は、勿論幸せにならないといけないと思います。しかし、我々の孫の時代に引き継いでいけない案件だとも思うのです。ある地域に集められた人たちが不利益を被るような扱いを受け、孫の世代に幸せな家庭をつくれるかどうかとそうではないと思うのです。それならば、仙台市が不動産価値が上がるように主体的に街を整備し、将来的に子どもや孫の世代に引き継ぐことが出来る資産を残せるような工夫をして頂きたいと思うのです。

【鴻】そういう意味で復興住宅なども、もちろん大切なことだと思います。財産を失った方々に財産を作ってあげなければいけません。それも新しい制度を成立させて。現行法では、制度に無理やり押し込んでの復旧復興ですから、進捗が非

常に悪いと思います。被災の度合いに合わせた制度も必要ですし、今度被災にあった時のシミュレーションも大事ですし、防災であったり義捐祭であったり、大きい課題から身近な課題までたくさんのことを考えた整備が必要になるはずですよ。優先順位と立場立場で取り組むべき問題を振り分けて、みんなで取り組まないとはいけないと思いますね。

これまでの政府の対応は、足腰の弱った人に、丘の上に家を作ってあげようという、傷口に絆創膏を貼ってあげる程度の応急手当的な政策でしかないですね。

現在与党が担っている政策は、国土強靱化と言って、その基本法は6月の会期中に提出しますけれども、そこに盛り込まれているのは、心の問題や天皇家の安全なども考慮した日本の国土を強靱化していくための法律の基本を作っています。10年で200兆円くらい予算を盛り込むような壮大な計画です。そういう思い切ったことをやらないといけない、それが今後の日本の世界に対する大きなインパクトになると思いますよ。

【山】仙台という街は、駅からアークード付きの商店街が約2〜3km続いているのですが、その中には、地元地主さん達の低層ビルが沢山あります。それならば、街を再開発し高層化して、高層階をお年寄りの住宅にするなど、住みやすい街、生活しやすい仙台にしなければいけない、そこに被災者が住んでも良いのではないかと思うのです。そうすれば融合してみんなで助け合う絆、相手を思いやる優しい心が生まれるのではないかと期



待しているんです。

【鴻】優しいね。結構な話ですね。しかし、政府は役人主導ですから机上ではかなり想定して、細やかな配慮まで考えられません。勉強ばかりし過ぎるのも良くないですよ。けちけち考えていたら、せつかくのアイディアも面白くなくなってしまう。

関西だと歌舞伎とか文楽、あるいはオペラとかお寺、神社、仏像、絵画。それに関わる子ども達の芽を伸ばしてやる文化が、育まれています。そういう文化を醸成させることに趣をおかないと折角の

日本らしい文化が台無しになってしまうと思いませんか？

学歴、能力関係なく好きなことのできるのがJICの魅力

【山】今の人は何かを身に付けないといけないとやっきになっているように感じます。

【鴻】日本JICの会員数が半分になりましたよね。我々がやっている時72,000人でしたが、今は40,000人人を切ってるじゃないですかね。JICに入って何の役に立つの？どんなメリットがあるの？JICのノウハウが埋もれてしまっているのですよね。残念だけど今はそういう時代なのか。メンバーに遊び心が無いと思いますね。本当は、そういう文化的なところを教えるのもJICの担いはずなのですがね。

【山】みんな時間の使い方が下手というか、せわしない日常にがんじがらめになって、JICに学びを求めてしまっている人もたまにいますよね。

【鴻】昔は良かったなあ。親父と寿司を食べに行つてその親方に『ボン、JCって知ってるか。入りなはれ、そりや宜しいで』と。青年会議所がどんな団体なのか調べもせずに入会したものです。当時、小さなトラックの配送会社をやっています、今日のようにお弁当の宅配サービスなんて無かった時代ですから、本気で昼ご飯を用意してくれて、それを戴いて働いていました。そこへ『毎度』と言って豆腐屋の親父が入つて来たので

すが、見たことある顔だなあと思つたら、豆腐屋はわたしの委員会の委員長なんですよ！『君、議事録の作り方知ってるかね、鴻池君』とか、偉そうに言われた次の日のことですよ。入会したての頃は、ちょうど尼ヶ崎JICが10周年の時、何をやらされたかと言うと、理事長が挨拶する演台を片付ける役でした。あの時が山でした。『辞めようか、続けようか。なんで俺こんなところ入ってしまったのかな？』と思いましたが、だ、学歴、社業の優越なく、一人の人間として扱われること。それがいいんですよ、JICって。あの頃JICに入った人で、入会したら何か良いことがありますか？メリットは？勉強になるか？とか言う人はあまりいなかったと思いますね。みんな卒業する時に、JICに入つておもしろかった。よかった。と言っている人は多かったですけど。何も無いからJICなんです。きつと。

後輩たちよ、継続のために頑張れ！

【山】最後にメンバーにはなむけの言葉をお願いします。

【鴻】継続のために頑張れ、青年会議所は、継続することに意味がある。今仙台は何年目？

【山】62年目です。

【鴻】100年目指して頑張つてほしいですね。継続の為に。ニューヨークタイムズに勤める友人と食事することがありまして、外国には社是のような経営方針を



表わすことばはないようですが、新入社員が最初に叩き込まれる言葉がcontinuity、継続だそうです。『私たちは、この歴史と権威のある、ニューヨークタイムズの継続のために頑張る』という気概で働いているそうです。退職していく人は、『私の人生はこのタイムズ社の継続のためにあった』と言つたそうです。すてきだと思いませんか？青年会議所の会員には、どの立場におつても継続のために頑張つてほしいと思います。それが世のため人のためになるなら、なおさらの事。そしてまた、みなさんの考え方次第であるとも思います。鎖の輪のようにずっと連なつていって、その輪が全国で連なつていくと、何となくみんな同志愛が生まれてくるのではないのでしょうか。それがJICに入つていかなかったら出会っていなかったでしょう？それ自体がすてきなことなのではないでしょうか？

新お祭りおもしろ未来へ

仙台七夕まつり
8月6日(火)・7日(水)・8日(木)

仙台七夕まつり協賛会(事務局/仙台商工会議所)

第44回
仙台七夕花火祭

2013年8月5日(月)

時間 19:00~20:30
場所 仙台西公園周辺
雨天の場合、8月9日に順延

© City of Sendai

<http://www.tanabata-hanabi.jp>

七夕花火 で 検索

Twitter @sendaihanabi

Corporat Philosophy
株式会社羽根川設備工事は管工事業として、限られた水、きれいな空気、資源を大切にし、生活環境において付加価値の高い工事、サービスを追及し、より安全で快適な設備を提供致します。

Business Policy

- お客様に信頼される人、企業
- 一人ひとりが活力があり、生き生きとしている経営
- 新しいことにチャレンジする、生命力に満ちた組織体

株式会社 羽根川設備工事

宮城県仙台市若林区卸町東 3-3-10 TEL 022-287-5577

2013年度 副理事長・専務理事・室長・議長・特別委員長・委員長紹介

副理事長



石川 歩
メックトーヨー(株) 営業部長
・入会してから15年目になりますが、これまで学び、経験した事を伝えて行きたいと思ひます。



大柿 乃輔
ソニー生命保険株式会社
・まちも自分も「すてき」目指して頑張ります！



泉田 智行
㈱エスペランス 代表取締役
・利他の気持ちで、すてきな仙台を目指します。



河合 良紀
㈱建設新聞社 常務取締役
・会員室担当として対内向けがほとんどではありますが、様々な機会の提供が出来ればと思っております。

専務理事



飯岡 昌司
宮城文化服装専門学校 事務長
・「すてきな仙台」に向けて「今」やります。

室長



庄子 恵
㈱デジタルアウトソーシング 代表取締役
・すてきな仙台の実現に向けて頑張ります。

事業室



中村 敦子
㈱建美 取締役
・女子力を発揮して頑張ります。

会員室



金ヶ崎 政伸
有金源堂 取締役
・次代を担う子どもたちのために頑張ります。

広報渉外室

議長



佐藤 充
㈱アーキランド一級建築士事務所 取締役
・笑顔溢れるまちの実現

JC運動推進会議



亀井 義広
三和自動車商事(株) 専務取締役
・ミスの無いように頑張ります。

法令会計審査会議

特別委員長



大山 宏
㈱エイチアイファクトリー 代表取締役
・多くの方が感動を共有できる「すてきな花火」を打ち上げます！

七夕花火祭特別委員会



吉田 修
㈱吉岡屋 常務取締役
・すてきな未来、すてきな仙台の創造へ！！

すてきな未来創造委員会



松井 佑介
カガワ印刷(株) 代表取締役社長
・この仙台に夢の架け橋を！

夢のあるまちづくり委員会



日下 利治
㈱くさかや 常務取締役 統括本部長
・自分のために！家族のために！地域のために！活動します。

地域共同開発委員会



三塚 愛美
ビジネス教育訓練所(株) 取締役
・すてきなメンバーの開発とすてきな仙台の実現へ

会員開発委員会

委員長



熱海 秀宗
㈱明生商会 代表取締役
・「すてきな仙台」を目指し、メンバーと共にすてきな存在へ

資質向上委員会



佐藤 仁
㈱TMS 代表取締役
・広報担当として一生懸命頑張ります。よろしくお願いいたします。

広報委員会



鈴木 靖弘
小糸樹脂(株) 取締役
・無限の可能性への POSITIVE CHANGE!

渉外委員会



高橋 進伍
ビーエッチ(株) 常務取締役
・苦あれば楽あり、楽あれば苦あり。

総務委員会

一年間
よろしくお願ひ
いたします

仙台JCは「すてきなまちを考えよう年間」を推進しています！

みんなの**絵**や**写真**が
にのり**ます!!**
や**本**にのり**ます!!**
作品を送ってね!!



仙台市民による、仙台市民のためのプロジェクトが始まります！

みなさんが未来に残したい「仙台の好きなところ(もの)」を絵や写真、川柳で送ってください。

作品は全て作品集に掲載されます！さらに受賞作品は優先的に宮城交通バスに掲載されます！

是非ご応募ください！

■ 募集期間

2013.6/1~8/16

ゆめ★まちプロジェクト〈みんなのまちへの想いをカタチに〉

テーマ **仙台の好きなところ(もの)**

～ずっと残したいまちの宝物～

詳しくは公式ホームページで <http://www.sendai-jc.or.jp/yumemachi/>

売買・賃貸・管理 不動産のことなら無料相談承ります



不動産全般・賃貸・売買・管理
仙台不動産株式会社

仙台市青葉区二日町12番25号
www.sendai-fudosan.co.jp

検索

☎ 022-397-9876

2013
年度

上半期活動報告

1月 事務所開き

1月4日(金)に、公益社団法人仙台青年会議所の2013年度事務所開きが、商工会議所ビル8Fにあり、仙台青年会議所の事務局にて執り行われました。当日は、多くの理事メンバーが出席する中、神棚の前に祭壇が準備され、今年度の成功と安全を願うご祈禱が執り行われ、ご挨拶と、神仏の加護を願う言葉によって除災増福を祈ること、またその儀礼を意味します。本日参加した理事メンバーはその意味をしっかりと理解し、一年間当該会議所を牽引して頂きたいと思っております。



1月 宮城県知事 表敬訪問

1月7日(月)に、山田宗基理事長をはじめとする役員が、村井嘉浩宮城県知事を表敬訪問いたしました。新体制のご紹介も兼ねた名刺交換ののち、村井知事へ「新年のご挨拶を申し上げます。そして、山田理事長よりこれまでのご協力への仙台青年会議所へのご協力への御礼と、今年度の所信をご覧頂き、仙台青年会議所の運動についての説明を行います。」と、お時間を頂きまして、本年の公務をお忙しい中、お時間を頂きまして本当にありがとうございます。



1月 仙台市長 表敬訪問

1月7日(月)に山田宗基理事長をはじめとする役員が、奥山恵美子市長を表敬訪問いたしました。新年のご挨拶と新体制のご紹介をさせて頂いた上、現在までの仙台青年会議所へのご協力の御礼と、今年度のさらなるご協力を願われるようお願いしてまいりました。お願ひしてまいりました。また、本年度の所信をご覧頂き、今後の運動の方向性についての説明の後、これからの仙台の発展に向けての意見交換を行います。」と、お時間を頂きまして本当にありがとうございます。



1月 どんと祭 裸参り

小正月の1月14日(月)に、「どんと祭」が宮城県各地で開催されました。仙台青年会議所の伝統である、裸参りも今年で28回目になりました。今年も無事に事故もなく終えることができました。当日は最高気温が零度と朝から雪が降り、厳しい天候となりましたが、震災からの復興、すてきな仙台の創造を願って58名のメンバーが心ひとつに青葉神社の御心火をめざしました。神社では御祈禱を執り行い、仙台JCIのさらなる飛躍を祈願いたしました。



1月 京都会議

1月17日から20日にかけて京都会議が開催されました。この歴史ある京都会議は、公益社団法人日本青年会議所の本年度の活動の始まりとして、また、日本青年会議所の運動を全国の会員会議所理事長とメンバーへ伝える場として重要な位置づけとなっております。仙台JCIからも大変多くのメンバーが参加いたしました。「新しい時代への燈火となれ!」のテーマのもと各種セミナーやフォーラム、諸会議が開催され、仙台JCIからの出向メンバーも各会議体、委員会にて活躍しました。



1月 第1回通常総会

1月22日(火)公益社団法人仙台青年会議所の最高意思決定機関である2013年度 第1回通常総会が江陽グランドホテルにて開催されました。総会当日は2012年度事業報告並びに会計報告・会計監査報告(案)が審議され、満場一致にて可決承認されました。また、2013年度の理事選任(案)、監事選任(案)、出向者承認(案)の各議案も承認され、2013年度の体制がスタートいたしました。



1月 新年式典

1月22日(火)に、公益社団法人仙台青年会議所2013年度新年式典が江陽グランドホテルにて開催されました。当日は仙台青年会議所特別会員でもある防衛大臣 小野寺五典様、宮城県知事 村井嘉浩様、仙台市長 奥山恵美子様、仙台市商工会議所会頭 鎌田宏様、公益社団法人日本青年会議所2013年度会頭 小畑宏介君をはじめ、多くのご来賓並びに各地青年会議所の皆様のご参加のもと、2013年度新年式典が執り行われました。



1月 宮城ブロック協議会2013年度みやぎJCIアカデミー委員会開校式

公益社団法人日本青年会議所東北地区宮城ブロック協議会 2013年度 みやぎJCIアカデミー委員会開校式が、1月27日(日)に白石市小原温泉旅館かつらにて行われました。公益社団法人仙台青年会議所からは、渡谷智子君、菅原洋光君、新沼史智生の3名がアカデミー生として出向しております。1年間アカデミー委員の青年会議所活動にて、大いに発揮して頂きたいと思っております。



1月 宮城ブロック協議会2013年度新年式典

宮城ブロック協議会2013年度新年式典が、1月27日(日)に白石市小原温泉旅館かつらにて行われました。宮城ブロック協議会のスタートとなる新年式典に、多くのご来賓の方々にお集まり頂きました。宮城ブロック協議会2013年度会長 前田 顕正君より新年のご挨拶があり、共に力を合わせて、地域に真に必要とされる輝く宮城の実現に向けて頑張りますよと力強いご挨拶を頂きました。



2月 東北地区協議会 東北ゼミナール委員会開校式

東北ゼミナール委員会開校式が2月9日(土)仙台市福祉プラザにて行われました。東北ゼミナール委員会開校式では、東北各地から予想を大幅に上回る沢山のメンバーがゼミ生の応援に駆けつけました。また、ゼミナール開校式後に行われたオープニング講演「道なる道へ」東北を輝かせよう、野呂貴徳先輩(2010年度東北地区協議会 会長)による貴重なお話を頂きました。



2月 新・東北3つの夢 総決起大会

日本JCI第62代会頭 小畑宏介君の選出、2014年ASPAC大会の開催の決定、そして2015年全国大会ASPAC大会の開催を受け、2月9日(土)に新・東北3つの夢総決起大会が江陽グランドホテルで行われました。過去の「東北3つの夢から10数年を経て、日本JCIシニア・クラブ筆頭世話人代表の岡田伸浩先輩、第46代日本JCI会頭 村岡兼幸先輩及び歴代東北地区協議会会長、沢山のOB・OGと共に新たな夢の成功を誓い合いました。



2月 第2回例会「SYNERGISM 深めよう相互理解」

第2回例会が、2月13日(水)江陽グランドホテルにて開催されました。第2回例会は、各自の抱負を理解し、また他会議体 特別委員会、委員会のプレゼンテーションによりその役割を知ることで、委員会同士が連携する可能性を探る機会となりました。そして、相互理解から連携が生まれ、仙台青年会議所の活性化を図り、すてきな仙台の実現のための相互理解・相互連携を強力に推進するきっかけとなりました。



3月 復興創造フォーラム及び、第142回総会開催

3・11東日本大震災の犠牲者への黙祷を捧げる厳粛なムードの中、3月10日(日)復興創造フォーラムが仙台市太白区のゼビオアリーナ仙台にて開催されました。はじめに若手県大副町出身の書道家 高橋雄也君(14)の「燈火」の書の実演によるオープニングアクティが行われました。高橋君は被災地出身という事もあり、震災からの復興への思いが人一倍ある中、「震災に負けず頑張ってください」という力強い復興への思いを込めたメッセージに、来場者からは惜しみない拍手が送られました。



3月 キャンドルナイト2013 ががやけ仙台

東日本大震災から二年を迎えた3月11日(月)に、勾当台公園市民広場にて、「キャンドルナイト2013 ががやけ仙台」震災の記憶を胸に、を開催いたしました。市民の方々がゆめを描き、新たな希望を抱くことで復興に寄与し、新たなまちの創造を、市民や全国の方々が「かがやけ仙台」を合言葉に市民の皆さまの「ゆめ」を紙コップに描き、キャンドルの炎にのせて発信しました。



3月 創立例会

2013年3月15日(金)は仙台青年会議所創立62年目になり、現役メンバーとOB、OGが一堂に会し過去を顧み、先輩方へ感謝の意を表すとともに、未来に向けた一歩を踏み出す機会となりました。在籍年数でわけられたテーブルでは、現役メンバーとOB・OGの意見交換がたなわれ活発な交流がもたれました。



4月 4月例会開催

4月17日(水)第4回例会が行われ、仙台JICの今後の課題を長期的視点で見つめ、今後進むべき方向性を共有し、組織として取り組む運動の重要性を認識するために討論会が開催されました。今例会担当のJIC運動推進委員の佐藤議長がコーディネーターをつとめ、(会員増強(柱となる継続事業の構築)に基づき、各部門アンケート)に基づき、事前アンケートの代表から活発な意見が出され議論が行われました。



4月 新入会員公式面接

4月20日(土)仙台市民会館にて新入会員公式面接審査が開催されました。面接は厳格な審査を行なうことにより、入会申込者が今後JICの仮会員としての心構えを創る機会とするのを目的としており、また、仙台JICの理念に賛同いただける人材を適正に判断するために毎年入会希望者へ実施しております。今年も多くの入会希望者が面接に臨み、仙台青年会議所メンバーは、皆様と共に活動できることを楽しみにしております。



5月 仮会員セミナー

5月11日(土)東京エレクトロンホール宮城において、仮会員セミナーが開催されました。このセミナーへの出席は、仮会員のみなさまに義務付けられていました。また本年度入会予定者の皆さまが正会員となるためには7月29日の新入会員パッチ授与式で決められた例会・事業等のうち70%以上の出席を求められております。JIC活動の積極的な参加を頂き、晴れて全員が私たちの仲間になり、共に「すてきな仙台」の表現の場に向けて活動ができることを期待しております。



5月 第5回例会「無限の可能性へのPOSITIVE CHANGE」

第5回例会「無限の可能性へのPOSITIVE CHANGE」が5月16日(木)エルパーク仙台609ギャラリーホールにて開催されました。第5回例会はJIC副会長と法制顧問を歴任し、現在JICの監事として活躍されている清水利春先輩(ひたなかな青年会議所OB)を講師にお招きし、JICの魅力について講演頂き、国際交流が無制限の可能性へのPOSITIVE CHANGEに繋がる例会になりました。



5月 第44回仙台七夕花火祭 事務所開き

5月17日(金)に第44回仙台七夕花火祭事務所開きが行われました。高速ビル(仙台市青葉区立町23-11-4F)の事務所にて安全祈願が行われ、山田理事長をはじめ、担当係副理事長、大山七夕花火祭特別委員長他多くのメンバーが安全な開催をお祈りしました。今年は「新たなおもい」をテーマに花火を打ち上げます。花火を安全に、クリーンに打ち上げた、市民の皆様にご覧いただきたい仙台青年会議所メンバーも頑張ります。



5月 第29回仙台・青葉まつり

第29回仙台・青葉まつりが5月18日(土)、5月19日(日)に開催されました。藩政時代、仙台東照宮の完成を祝う祭りとして始まった「仙台祭」は、藩内最大のお祭りでした。明治維新の影響で伊達政宗公を祀る青葉神社の祭礼「青葉祭」に一新1985年に伊達政宗公350年祭協賛会(現青葉まつり協賛会)主催のもと「仙台・青葉まつり」と名称変更、市民の祭りとして復活しました。仙台青年会議所でも両日祭の警備をしており、祭の成功に寄与しております。



5月 宮城ブロック協議会 会頭公式訪問

5月22日(水)に江陽グランドホテルにおいて、公益社団法人日本青年会議所東北地区宮城ブロック協議会会頭公式訪問において、会頭講演が行われました。小畑会頭は、「メンバーの皆様は成長の機会があり人々を変える力がある。新しい時代の燈火となるような活動し、火がともるよう活動し、私たちが運動を通じて意識を変える団体であり、私たちの意識が変われば、必ず人の意識を変えることができる」と熱い講演をされました。また、多くのメンバーと名刺交換や、意見交換を行い有意義な時間になりました。



6月 仮会員セミナーII

6月8日(木)、9日(日)に、ハイルザム栗駒にて仮会員セミナーIIが行われました。講師に当会議所OBの東山先生を招き、栗駒の入山口を整備を通してのJICの意義、小田原青年会議所の上田先輩より、JICの素晴らしいこと、続けることで自分の発展に繋がっていく事などをお話し頂きました。また仮会員が自分たちが想う「すてきな仙台」の姿を考え、事業の発表を行いました。このセミナーを通し、会員同士の団結力を高め、どのように発信するかを考えていく機会となりました。



6月 2013 JCI-ASPAC 光州大会

6月12日(水)から16日(日)にかけて韓国 光州の地でASPAC(Ur Asia Pacific Area Conference)が開催され、山田理事長をはじめ多くの仙台JICメンバーが参加してまいりました。ASPACは、アジア・太平洋地域の各国会頭が参加して重要事項を決議したり、JCIのテーマの推進、JIC運動に関するセミナーやワードセシモノなどが行われます。仙台JICメンバーにとっても姉妹JICをはじめ、同じ志を持ったアジアの仲間たちとの友好関係や協働関係を築きあげるための機会となりました。



6月 第6回例会「すてきな仙台」を生み出す

6月22日(土)に第6回例会が行われました。本例会は、2部構成とし、分科会では、新しいコミュニティの構築について、「家庭地域が果たすべき子育て支援」の構築者活力が地域を変える！について討議が交わられました。全体会では、私たちの日常は、人となりが、協働を進めることで成り立っている。行政も専門分野ごとに縦割りになりがち。地域には必要だが、横断的な仕事が大変だ。というごも理解していただく。地域・JIC・NPO・市が協力し合い、すてきな仙台にしていきたい。などの意見が出ました。



6月 第43回宮城、ブロック大会 in 白石刈田

6月30日(日)にブロック大会式典が、「白石城本丸公園」に於いて執り行われました。白石を中心に活動されている「下りてい」走乱白石城によるよこい踊りを皮切りに宮城ブロック協議会会長 前田正君、菅LOM 理事長 大泉拓也君が、青年会議所は、常に地域に必要とされる存在であり続けた。いふ存在の魅力を伝える立場として、まず地域知るところから始めよう。と挨拶されました。そして宮城ブロックII青年会議所の理事長が壇上へ上がり、地域のPRを兼ねた思いを発信しました。



6月 第44回仙台七夕花火祭 街頭募金活動

仙台の夏の夜空を彩る風物詩として皆様に親しまれております仙台七夕花火祭も今年で44回目を迎えます。今年は、「新たなおもい」で、すてきな未来へをテーマに開催いたします。6月29日(土)から、7月28日(日)までの毎週土曜日・日曜日の13時から15時まで、日曜、藤崎本店、マールロードにおもちゃ店及び仙台三越一番町買物公園通り側において恒例の募金活動を実施いたしました。皆様のご協力ありがとうございました。





すてきな仙台の創造へ向かって

入場無料

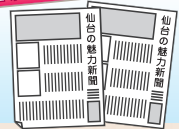
～歴史を紐解き明るい未来へつなげよう!!～

“すてきな仙台の創造に向かって”とは?

あなたが誰かに「仙台はどのようなまちですか?」と聞かれたら何と答えますか。あなたが誰かに「今、住んでいるところはどんなところですか?」と聞かれたら何と答えますか。その答えを何のためらいもなく、自信をもって言えたらすてきですね!!!我々はその答えをみなさまと共に考えていくために色々学びました。是非、我々としてすてきな仙台の創造へ向かって共に行動を起こしましょう!

仙台の魅力を再発見!!市民が見つけた“すてきな仙台”をご紹介します!

壁新聞コーナー



スタッフと作成した仙台壁新聞。過去から未来へ向けた想いまで気持ちを込めて書いてます

武将姿で記念撮影



江戸時代の武将や庶民の姿で記念撮影撮影ができます!無料です!!(人数制限あり)

絵馬へ想いをこめて



絵馬へまちに対する想いを書いてください。

過去と現在の写真展



あの建物が、あの橋が、あの商店が...あなたの住み暮らすこのまちを見直す機会になるかも?

2013年8月21日(水)～25日(日)

会場: 仙台なびっく

〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-4-35

TEL:022-748-5871 <http://sendai-navic.com/>

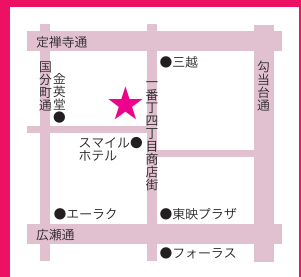
時間: 10:00～18:00 入場費: 無料 後援: 仙台市

主催・お問い合わせ 公益社団法人仙台青年会議所

〒980-0021

宮城県仙台市青葉区本町2-16-12 仙台商工会議所ビル8F

TEL:022-222-9788 FAX:022-222-9786 <http://www.sendai-jc.or.jp/>



健康で穏やかな暮らしのために



たいよう接骨院

〒983-0013

仙台市宮城野区中野字寺前 57-3 阿部大ビル1F

TEL 022-387-2794 FAX 022-387-2795

各種健康保険取り扱い

交通事故・労災取り扱い

診療時間

平日	9:00～12:30 14:30～19:00
土曜	9:00～13:00
休診	日・祝祭日 毎月第3水曜日

※新患、急患随時受付



東北地区協議会

東北地区協議会は、東北地区内77の青年会議所から出向しているメンバーが集まり、2013年度のスローガン「ディスカバー東北」のつなごう！東北 新たなコミュニティの創造へ向けて」のもと、荒井寛会長を中心に「つなごう！東北」の活動、荒井寛会長を中心として新東北の再建に向けて活動、運動を展開しております。

《主な事業について》

東北地区宣言文策定事業

東北100コミュニティ創造委員会
東北における青年会議所運動の礎となる東北地区宣言文の策定をいたしております。

被災地域訪問事業

復興推進委員会
気仙沼や福島県被災地域などの訪問事業を行っております。

東北をひとつに

地域連携委員会
東北が一つの輪となり有機的に結びつく連携を支援することで、我々の努力と志を多くの人々に伝播し、「輝く東北」を実現します。

リーダー育成事業

東北ゼミナール委員会
将来、各地域におけるリーダーとなる人材を育てるために、各LOMからのゼミ生の育成や指導を行っております。

東北青年フォーラム委員会

地域全体に郷土を大切に思つた、人と人のつながり、地域に対する自信と誇りを醸成すべく、「輝く東北」を実現します。

今後の予定

「東北青年フォーラムin大曲」
2013年9月7日(土)8日(日)
秋田県大曲市大曲

宮城ブロック協議会

宮城ブロック協議会は、あぶくま、石巻、泉、おおさき、栗原、気仙沼、さくら、塩釜、白石、仙台、とめの11の青年会議所が集まり、宮城ブロック協議会として活動しております。2013年度は「地域に真に必要とされるJAYCEEによる輝く宮城の実現」をスローガンに宮城をよりよいものにするため、日々活動しています。

《主な事業について》

震災復興支援会議

この愛する地域を震災前より希望に満ち溢れた明るい豊かな社会にするという気概を己を律し公共の利益に奉仕する地域のリーダーとして、自らが地域の燈火とならん覚悟を持ち、次代のJCへ繋げる青年会議所運動を力強く展開することで輝く宮城を実現します。

みやぎJCアカデミー委員会

地域から真に必要なとされるJAYCEEの誕生によって、各LOMの活動をより活性化させ、その中で作り上げる運動が地域の方々に伝われば新しいメンバーの参画にも繋がります。最終的には地域社会の舵取りをまかせられる人材の輩出によって輝く宮城を実現します。青年会議所メンバー向けの各種研修事業を行い、地域を牽引するリーダーを育成することを目的に取り組んでおります。

LOM支援委員会

当委員会は、大きな転機を迎えた今だからこそ、当事者意識をもって自らが主体的に考え地域と向きあい、それぞれの地域を活性化させるために強い気概と覚悟をもって活動するLOMと共に、真に地域から必要とされる存在として歩み続け、輝く宮城を実現します。

LOM協働委員会

私たちJAYCEEが、すべての「つながり」を意識し、自らの燈火をさらに輝かせ新たな理想の未来を見据えた市民意識変革運動を力強く県民に発信し、県民一人ひとりが自ら考え学び、自覚と責任をもって行動することにより、輝く宮城を実現します。

※JCとは青年会議所のこと。
※LOMとは地域青年会議所のこと。

集 編 後 記

公益社団法人仙台青年会議所2013年度広報紙「のぞみ」を拝読いただきましてありがとうございます。

今回の「のぞみ」では、理事長山田宗基と、参議院で活躍されており、我々青年会議所の先輩でもあります鴻池祥肇様との対談が神戸にて実現いたしました。仙台だけではなく、被災地全体が抱えている諸問題をお話しさせていただき、国の対応や、あるべき姿をお話いただきました。ありがとうございました。

本年度は、「Discover now, for the future」すてきな夢・すてきな仙台の実現へ「のぞみ」のスローガンをもとにすてきな仙台を実現すべく皆様のご協力、ご理解を賜りながら、ホームページ、広報紙「のぞみ」の発行、メールマガジン等で我々の運動をご紹介します。

最後になりますが、「のぞみ」を発刊するに当たり、ご協力いただきました皆様には心より感謝申し上げます。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。



発行情報 のぞみ vol.397 2013年7月

発行 公益社団法人仙台青年会議所
住所 仙台市青葉区本町二丁目十六番十号
仙台商工会議所ビル八階

創人 弘平 真弘
洋芳 亮 祥弘
結高 大木 丹野 若生
城橋 大野 堀内 若生

歩 崎政 伸 仁
将光 英 誉 人
石川 金 佐 藤 原 石 遠 加 菅 豊 川 三 浦

担当副理事長 石川 歩
担当室長 金 崎 政 伸 仁
委員長 佐 藤 原 石 遠
副委員長 菅 豊 川 三 浦
幹事 加 菅 豊 川 三 浦
委員 菅 豊 川 三 浦

〈広報委員会〉
●担当副理事長 石川 歩
●担当室長 金 崎 政 伸 仁
●委員長 佐 藤 原 石 遠
●副委員長 菅 豊 川 三 浦
●幹事 加 菅 豊 川 三 浦
●委員 菅 豊 川 三 浦

あなたのカーライフをサポートする自動車部品の総合商社



SANWA

三和自動車商事株式会社

◎アルミホイール修正 ◎油圧ホース製作 ◎タイヤ販売 ◎各種研磨 等

本社/仙台市宮城野区扇町三丁目8番7号(仙台自動車団地)
TEL: 022-232-0381

HP <http://www.sanwa-parts.com/>



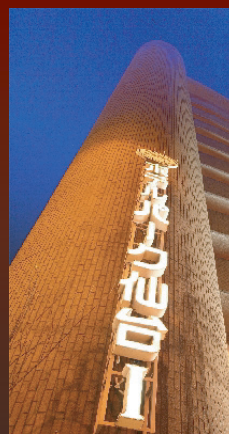
ホテルプレステージⅡ

仙台市青葉区立町 23-16
TEL : 022-263-5556



ホテルパレス仙台

仙台市宮城野区小田原 1-1-5
TEL : 022-299-7521



ホテルパーク仙台Ⅰ

仙台市青葉区花京院 1-4-14
TEL : 022-227-3521

杜の都仙台に3つのホテル
ビジネスに利便を、観光に思い出を・・・

立地と寛ぎが選べるDAIWAホテルチェーン

飲食業をはじめたいあなたを応援します!!

飲食店経営者の方、またこれから独立開業をお考えの方は
先ず吉岡屋へ相談ください。



株式会社吉岡屋

URBAN 21st OASYS

株式会社吉岡屋

検索

仙台酒屋ブログ

検索

お酒のこと、飲食物件のことなら、何でも相談ください!!

宮城県仙台市青葉区栗生5-3-3
TEL (022) 392-1611